



otona no gakkou  
大人の学校

# 講座のご案内

2021年12月号

お申し込み



このチラシを見た方どなたでも、講座へ参加ができます。

## 新春！シネマ歌舞伎鑑賞と 銀座のアンテナショップ巡り

古典芸能はすこし敷居が高く感じますが、歌舞伎を映画で気軽に楽しめるシネマ歌舞伎が人気です。映画ならではのインタビューやアップの画面もあり、舞台とは別の楽しみ方があります。歌舞伎は初めてという方もリピーターの方も楽しめる映画をぜひこの機会に。

今回は、新春にふさわしい演目「京鹿子娘五人道成寺 / 二人椀久」を鑑賞します。

日時：1月13日（木）午前10時集合  
集合場所：東劇正門前（中央区築地 4-1-1）  
参加費：5,000円

（シネマ鑑賞チケット代、昼食代、保険料をふくみます）

※事前のお振込みをおねがいします。  
お申し込みの方には詳しいご案内をお届けします

## ヤンニョムから作る 大根キムチ

韓国人の一人当たりの一日の野菜供給量は世界一で、日本の約2倍！（総務省「世界の統計2004」）今回は旬の大根をたっぷり使い、ヤンニョムと大根キムチを作り、持ち帰ります。

日時：1月15日（土）午前10時～12時  
場所：生活クラブ所沢生活館  
（所沢市美原町3丁目2971-5）

参加費：3,000円  
持ち物：エプロン・三角巾

講師：李 亜民さん

ママたちの地域コミュニティーサロン  
さやマンセ代表。埼玉県狭山市在住。  
在日コリアン3世。飯場でご飯をふる  
まい、たくさんの人たちとにぎやかに  
過ごす祖母の影響を受け、韓国料理などを  
通じて地域コミュニティづくりの活動中。



## 所沢航空公園の史跡と ロウバイ園巡り

戦後の米軍基地の一部が返還されて作られた所沢航空記念公園は、市民の交流や憩いの場となっていて、史跡も数多く残されています。所沢観光コンシェルジュの案内で自然豊かな公園内の史跡を周り、見ごろのロウバイの花も観賞します。

（終了後、希望者にはデポー所沢までご案内します）

日時：1月28日（金）午後1時30分～3時30分  
集合時間と場所：午後1時15分集合、西武新宿線「航空公園駅」改札口にお集まりください。

参加費：1,000円  
持ち物：温かい飲み物と暖かい服装で。



つながる・話す  
元気になる！



koyaba カフェは不定期開催、参加費無料、ネット上で気がるにおしゃべりを楽しむ場です。お申し込みの方には Zoom のアクセス案内を送りますので、テーマに関係なくお気軽にご参加ください。

《今後の予定》

- 1月11日（火） 14時～15時30分
- 2月8日（火） 14時～15時30分
- 3月7日（月） 14時～15時30分

出入り自由です(^^) /

予告

2月26日（土）10時30分～12時30分  
太巻きまつり寿司〈桃の花〉にチャレンジ！（生活クラブ所沢生活館）





こんにちは、大人の学校です。  
7月から始めた koyaba カフェ、12月で6回目となります。  
コロナ禍で人と話す機会が減り、そのことで心やからだの健康に影響を受けているのではないかと考え、スタートしました。  
Koyaba(こやば)は大人の学校の事務所のある川口市の地名です。この場には集まれないけれど、ネットでつながり元気になることを目指しています。

参加者さんの声

※今後の予定はオモテ面をご覧ください



ある日の koyaba カフェ

縁あって8月から参加している武川と申しします。古希を過ぎた爺さんですが、50代で早期退職し、カミさんからバトンタッチして荷受等、班活動を引き受けてきました。  
暫くして、若い時から愛読していた柄谷行人という思想家が生活クラブのシンクタンク、市民セクター政策機構内で非常な影響力を持った存在であることを知ったこともあり、協同組合運動の重要性を再認識し現在に至っています。  
今回コロナの跋扈する中、大人の学校で企画してくれたZoom講習会に参加したのがきっかけでkoyabaカフェに毎回お邪魔しています。  
いつも楽しいお話に花が咲きますが、そこは生活クラブメンバー、皆様の実践、行動力、意識の高さに舌を巻くことも度々です。身近な四方山話で盛り上がりストレス解消の場ですが、今回のこの事態を乗り越える鍵となるような話におよぶこともあります。皆様ぜひ参加してみてください。

被災地を忘れない！ 1冊の本がつなぐ応援の輪



旧事務所で行っていた被災地応援（皆さまから届けていただいた本を販売し、集まったお金を陸前高田市の図書館へ寄付する活動）を違う形で再開しました。



中古本の販売で出店しました



陸前高田市では、町に人でにぎわう「市」を復活させたいと、「ふくふく市」実行委員会が立ち上がり活動中。月に2回まちの中心地で有志が野菜や衣類や加工品などを持ち寄りにぎわいを作っています。  
大人の学校は、中古本の販売で今回初めて参加してみました。まちの人数が少ないのに加えて、本を並べていても目をとめてもらうのはなかなか大変でしたが（やはり食べ物に目がいきますよね）、実用本を何冊か購入してもらえました。これからもほそぼそと続けていきたいと思っていますので、本の寄付がありましたらお問い合わせください。（山野井・記）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 大人の学校

〒333-0857 川口市大字小谷場 206  
生活クラブ生協内

電話/ファックス 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の10時~16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

大人の学校 スタッフのつぎやき

地域の川掃除に参加して20年以上経つ。近くを流れている川のごみの多さに辟易していたところ、定期的に清掃活動をしている団体の存在を知ったのがきっかけ。年に3回の活動では充分とは言えなくて、気が付いたら毎週のように川のごみを拾ってきた。参加者の顔ぶれも変わっているが、些細なおしゃべりも楽しくて、今ではおしゃべりコミュニティのような集まりにもなっている。

コロナ禍ではマスク着用必須、お楽しみのティータイムもなく、おしゃべりも短く…と気を遣う。拾うごみの大半はレジ袋や容器などのプラスチックゴミで、コロナ禍以降はテイクアウトごみも増えていて、川に落ちているマスクの多さにも驚かされる。プラスチックは軽いので、飛ばされて低いところを流れる川に落ちてしまうケースが多いと思われる。

川のごみが東京湾に流れていくことがないよう、拾えるごみが僅かであったとしても取り除きたい一心でやっている。人の営みが環境を脅かし、最後には人間に戻ってくるのだと思うと、体が動く限りごみ拾いはライフワークのように継続していくのかな。（コッコ）